

令和5年10月13日

各市民センター館長 様

市民文化スポーツ局
生涯学習課長 横川 大信

生涯学習推進コーディネーターに関するアンケート調査について（依頼）

生涯学習課では、令和4年度に生涯学習推進コーディネーター（以下、コーディネーター）制度の見直しを行いました。

つきましては、制度見直しによる市民センターやコーディネーターへの影響を把握し、今後のコーディネーター制度の参考とするため、アンケート調査を行いますのでご協力をお願いします。

1 アンケートについて

コーディネーター向けと市民センター館長向けの2通り調査します。

（1）対象者

① 生涯学習推進コーディネーター

※各センターよりコーディネーターへ、別紙「生涯学習推進コーディネーターに関するアンケートのお願い」にてアンケートをご依頼ください。

② 市民センター館長

（2）回答期限

① コーディネーター向け 令和5年11月30日（木）

② 市民センター館長向け 令和5年11月10日（木）

（3）アンケートフォーム

コーディネーター、市民センター館長共に Google フォームにて回答をお願いします。

①コーディネーター向けアンケートで、Google フォームを利用できない場合は紙での回答をお願いしてください。紙の回答用紙は各市民センターより 11月30日（木）までに直接、生涯学習課まで提出してください。

2 問合せ先

市民文化スポーツ局生涯学習課 担当：菅
TEL 582-2385

<館長向けアンケート>



生涯学習推進コーディネーターに関する館長アンケート

【アンケートの目的】

令和4年度に生涯学習推進コーディネーター制度の見直しを行いました。制度見直しによる市民センターやコーディネーターへの影響を把握するためのものです。

※回答に当たりましては、現センターの状況をお答えください。

※アンケート結果については、集計したうえで各区コミュニティ支援課・市民センターへフィードバックいたします。（自由記載部分については、個別のセンターが特定されない形で集計します。）

【アンケート項目】

Q1. 貴市民センターの所在区を教えてください

- ☐門司区 ☐小倉北区 ☐小倉南区 ☐若松区 ☐八幡東区
☐八幡西区 ☐戸畑区

貴市民センター名を教えてください

_____市民センター

Q2. 現在、生涯学習推進コーディネーター（以下、コーディネーター）を配置していますか。

- ☐はい ☐いいえ

※Q3～Q6は、Q2で「はい」と回答したセンターのみお答えください。

Q3. 現在のコーディネーターの在籍年数は何年目ですか。

- ☐1年目 ☐2年目 ☐3年目 ☐4年目 ☐5年目 ☐それ以上

Q4. コーディネーターの活動頻度はどの程度ですか。

月回程度、1回あたり時間程度

Q5. コーディネーターになっていただいたきっかけはどのようなものですか。

- ☐市民センター活動への参加（具体的な活動：_____）
☐市民センター関係者（元館長・元職員、子育てサポーターなど）
☐地域・関係者からの推薦
☐その他（_____）

Q 6. 具体的な活動はどのような内容ですか。

- ☐ 講座の企画 ☐ 講座の運営・補助 ☐ 講座の講師
☐ 館報の作成 ☐ その他（ ）

※Q 7～Q 9は、Q 3で「3 年目」「4 年目」「5 年目」「それ以上」と回答したセンターのみお答えください。

Q 7. 令和 4 年度の制度改正前後で、コーディネーターの活動量に変化はありましたか。

- ☐ 増加した ☐ 減少した ☐ 変化なし

「増加した」「減少した」の場合、その理由（と考えられるもの）をお答えください。

《自由記載》

Q 8. 令和 4 年度の制度改正前後で、コーディネーターの活動内容に変化はありましたか。

- ☐ 変化あり ☐ 変化なし

「変化あり」の場合、その変化の内容とその理由（と考えられるもの）をお答えください。《自由記載》

Q 9. 令和 4 年度の制度改正にともない、苦労した点をお答えください。《自由記載》

※次の設問は全員（現市民センターの状況で）お答えください。

Q10. 令和 3 年度から令和 5 年度にかけて、コーディネーターが辞めたり、交代しましたか。

- ☐ はい ☐ いいえ

※Q11 は、Q10 で「はい」と回答したセンターのみお答えください。

Q11. 辞めたり、交代した理由はなんですか。

- ☐ 制度改正の影響

- ☐在籍年数によるもの
☐その他（ ）

「制度改革の影響」の場合、その理由（と考えられるもの）をお答えください。
《自由記載》

※以下の設問は全員お答えください。

Q12. 令和4年度の制度改革についてご意見があれば記入してください。《自由記載》

Q13. 今後、コーディネーターを配置するセンターを増やすため、また、コーディネーターの活動を活性化するために必要と考えることをご記入ください。《自由記載》

生涯学習推進コーディネーターの皆さまへ

生涯学習推進コーディネーターに関するアンケートのお願い

日頃より市民センターでの生涯学習活動の推進につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございます。

大変お手数ですが、生涯学習推進コーディネーターの皆さまの活動状況等の把握のため、アンケート調査にご協力をお願いします。

下記 QR コードをスマホで読み取っていただき、Google フォームにて、11 月 30 日（木）までにアンケートにお答えください。

Google フォームを利用できない方は、アンケート調査票（紙）にて回答していただき、市民センターへご提出ください。

なお、調査の結果については、目的以外に使用することは一切ございません。



【問合せ先】

北九州市 市民文化スポーツ局 生涯学習課 担当：菅

北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

TEL093-582-2385

生涯学習推進コーディネーターアンケート

【アンケートの目的】

生涯学習推進コーディネーターの皆さまの活動状況や令和4年度の制度の見直しの影響について把握するためのものです。

※アンケート結果については、行政内部の関係者のみで共有します。また、その際には回答者が特定されない形で集計いたします。

【アンケート項目】

<基本情報>

Q1. 所属する市民センターが所在する区を教えてください

- ☐門司区 ☐小倉北区 ☐小倉南区 ☐若松区 ☐八幡東区
☐八幡西区 ☐戸畑区

所属する市民センター名を教えてください

_____市民センター

Q2. 現在、コーディネーターとして活動して何年目ですか。

- ☐1年目 ☐2年目 ☐3年目 ☐4年目 ☐5年目 ☐それ以上

<活動状況について>

Q3. コーディネーターの活動頻度はどの程度ですか。

月回程度、1回あたり時間程度

Q4. コーディネーターになったきっかけはどのようなものですか。

- ☐市民センター活動への参加（具体的な活動：_____）
☐市民センター館長・職員からの声かけ
☐その他（_____）

Q5. 具体的な活動はどのような内容ですか。（複数回答可）

- ☐講座の企画 ☐講座の運営・補助 ☐講座の講師
☐館報の作成 ☐その他生涯学習活動の補助
☐生涯学習課やコミュニティ支援課が開催する研修
☐その他（_____）

Q 6. コーディネーターとしてやりがいを感じるのはどんな時ですか。(複数回答可)

- ☐ 自身のアイデアが講座等に生かされた時
- ☐ 自身が企画・運営に携わった講座等が好評だった時
- ☐ 自身が企画・運営に携わった講座等の参加者から感謝された時
- ☐ 活動に対して、市民センター館長や職員から感謝された時
- ☐ 活動を通じて、自身の成長が感じられた時
- ☐ 活動を通じて、新たなチャレンジができた時
- ☐ その他 ()

Q 7. コーディネーターとして、今後チャレンジしたいことはありますか。(複数回答可)

- ☐ 講座の企画・運営
- ☐ 講座の講師
- ☐ 市民センターだよりの作成
- ☐ 市民センターに関する情報発信
- ☐ その他生涯学習活動への関わり
- ☐ その他 ()

Q 8. コーディネーターとして活動するにあたり、市民センターの館長や職員とコミュニケーションはとれていますか。

- ☐ 十分とれている
- ☐ おおむねとれている
- ☐ あまりとれていない
- ☐ とれていない
- ☐ 分からない

Q 9. コーディネーターとして活動するにあたり、どのような支援があると活動しやすくなりますか。(複数回答可)

- ☐ 活動に役立つ研修の開催
- ☐ コーディネーター同士の交流・情報交換
- ☐ 他のコーディネーターの活動事例紹介
- ☐ 他自治体の事例紹介
- ☐ その他 ()

※Q10～Q12 は、Q 2 で「3 年目」「4 年目」「5 年目」「それ以上」と回答した方のみお答えください。

Q10. 令和4年度からコーディネーターの活動に関する制度を見直しました。制度の見直し前後で活動量の変化はありましたか？

☐増加した ☐減少した ☐変化なし

「増加した」「減少した」の場合、その理由（と考えられるもの）をお答えください。

《自由記載》

Q11. 令和4年度の制度改正にともない、良かった点がありましたらお答えください。

《自由記載》

Q12. 令和4年度の制度改正にともない、苦労した点がありましたらお答えください。

《自由記載》

<研修について>

Q13. 生涯学習課では、毎年、コーディネーターの皆さんを対象とした研修を開催しています。これまで研修に参加したことはありますか。

☐はい ☐いいえ

※Q14～Q15は、Q13で「はい」と回答した方のみお答えください。

Q14. 参加した回数は何回ですか。

☐1回 ☐2回 ☐3回以上

Q15. 受講した研修の感想をお聞かせください。《自由記載》

※Q16は、Q13で「いいえ」と回答した方のみお答えください。

Q16. 参加しなかった（できなかった）理由を教えてください。

☐日時が合わなかった。

☐内容的に受講する必要性を感じなかった。

☐その他（ ）

※Q17～Q18は、全員お答えください。

Q17. 受講してみたいと思う内容をお答えください。《自由記載》

<今後について>

Q18. コーディネーターでの活動が終了後、どのような分野で活動したいと考えますか。

☐ 市民センターに関わる分野（館長や職員として）

☐ 市民センターでの活動に係る分野（市民センタークラブや子育てサポーターとして）

☐ 生涯学習・社会教育に係る分野（社会教育主事や社会教育主事補として）

☐ 地域活動に関する分野

☐ その他ボランティア活動

☐ 特になし

☐ その他（ ）

北九社協ボ第106号
令和5年10月13日

市民センター 館長 様

社会福祉法人北九州市社会福祉協議会
北九州市社会福祉ボランティア大学校
校長 久塚 純一

令和5年度 まちづくりセミナーの開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より地域福祉の推進につきまして、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、地域福祉活動やボランティア・市民活動など地域福祉を担う人材の育成を図るため、各種講座・研修会を実施しています。

その一環として、下記のとおり、「令和5年度 まちづくりセミナー」を開催することといたしました。

つきましては、ご多用とは、存じますが、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 講座名 令和5年度 まちづくりセミナー
- 2 実施内容 別紙チラシをご参照ください。(受講申込書：裏面)
- 3 服務取扱 公務(研修扱い)
- 4 受講料 無料(減免扱い)

※申込の際は、必ず市民センター館長である旨お知らせください。

また、申込み後に市民センター館長の代理として、他者(市民センター職員等)が出席することはできません。

※恐れ入りますが、旅費は各所属でご負担いただきますようお願いいたします。

＜お問合せ先＞

北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校) [担当]永井・松田
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた3階
TEL 093-881-6321 FAX 093-881-6306
メールアドレス fum.nagai@kitaq-shakyo.or.jp



「私たちにもできる！身近なことから、まちづくり」

～地域の力で、地域に根差したまちづくりを 進めているグループや団体の事例に学ぶ～



“まちづくり”と言っても、地域によって活動は様々です。しかし、そこに共通しているのは、「私たちのまちの良さって何だろう？」とみんなで考え、協力しながら活動に取り組んでいるということです。今回は、地域に根差したまちづくりを実践するグループや、団体の活動事例から、私たちのまちをもっと「大好き」になるために、今自分にできること、地域にできることを一緒に考えたいと思います。



日 時：令和5年12月9日(土)・16日(土)

10:00～12:00 [全2回]

会 場：ウェルとばた 12 階 H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6 JR 戸畑駅横）

対 象 者：テーマに関心のある方 30 名

※申込多数の場合は抽選させていただくことがあります。

参 加 費：700 円（当日納付書をお渡しします）

申込方法：受講申込書（裏面）に必要事項をご記入の上、
FAX・郵送・お電話・Google フォームでお申込ください。

申込締切 11 月 28 日（火）



日時：12月9日・12月16日 土曜日 全2回 10:00～12:00

日時	テーマ	講師
	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一	
① 12/9 (土)	事例Ⅰ ■「若松 TERA KOYA プロジェクト」 ～地域の人と人とのつながりのコミュニティ再生を目的に、交流の場（縁側）や学びの場（寺子屋）づくりへの取組～	若松 TERA KOYA プロジェクト 代表 楠 稔幸
② 12/16 (土)	事例Ⅱ ■「ひばりヶ丘次世代型町内活動コミュニティ創設の推進」～持続可能な自治会の仕組み確立に向けた取組～	小倉南区ひばりヶ丘町内自治会 会長 樽角 健一

問合せ・申込先

北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課

（北九州市社会福祉ボランティア大学校） 担当：永井・松田

北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた3階

Tel：881-6321 Fax：881-6306



Google フォームで申込

<https://forms.gle/3PKbNaQX4tnFzDcQ6>



受講申込 QR

受講申込書

11月28日（火）締切

氏 名	フリガナ	年齢・性別	歳 男 ・ 女
住 所	〒 -		
電 話			
ボランティア歴	ボランティアの経験 どのようなボランティア ある : ない		
備 考			

※本セミナーの申込者、参加者、修了者にかかる個人情報、本会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき、適正に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。

（１）「参加申込者」に記載された個人情報は、受講決定通知の送付等、本セミナーの運営にかかる目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

（２）受講にあたり、配慮の必要な方（例：左耳が聞こえにくいので、座席は教卓の左側がいい。目が悪いので、前列座席がいい等）は備考欄にご記入ください。

【ご来場の皆様へ お願い】

- ・体調がすぐれない場合は、出席をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大等、今後の状況によっては本セミナーを延期・中止する場合がございます。その際はご了承ください。

令和5年度 まちづくりセミナー実施要領

「私たちにもできる！ 身近なことから、まちづくり」 ～地域の力で、地域に根差したまちづくりを 進めているグループや団体の事例に学ぶ～

- 1 目的** “まちづくり”と一言と言っても、地域によって活動は様々です。しかし、そこに共通しているのは、「私たちのまちの良さって何だろう？」とみんなで考え、協力しながら活動に取り組んでいるということです。今回は、地域に根差したまちづくりを実践するグループや、団体の活動事例から、私たちのまちをもっと「大好き」になるために、今自分にできること、地域にできることを一緒に考えたいと思います。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** テーマに関心のある方 30 名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容**

	日 時	内 容	講 師
一 日 目	12 月 9 日 (土) 10:00～ 12:00	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一 事例Ⅰ ■「若松 TERA KOYA プロジェクト」 ～地域の人と人とのつながりのコミュニティ再生を目的に、交流の場（縁側）や学びの場（寺子屋）づくりへの取組～	若松 TERA KOYA プロジェクト 代表 楠 稔 幸
二 日 目	12 月 16 日 (土) 10:00～ 12:00	事例Ⅱ ■「ひばりヶ丘次世代型町内活動コミュニティ創設の推進」 ～持続可能な自治会の仕組み確立に向けた取組～	小倉南区ひばりヶ丘町内自治会 会長 樽 角 健 一

- 7 申込方法** チラシ裏面「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・電話でお申込みください。
チラシ記載の QR から Google フォームでの申込みも可能です。
受付締切：令和5年11月28日（火）
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 研修課
北九州市社会福祉ボランティア大学校（担当：永井・松田）
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 3F
TEL：093 - 881 - 6321 FAX：093 - 881 - 6306